

当会会員のトヨタ自動車北海道(株) (苫小牧市) が、平成30年6月1日(金)の、日刊工業新聞に紹介されました。

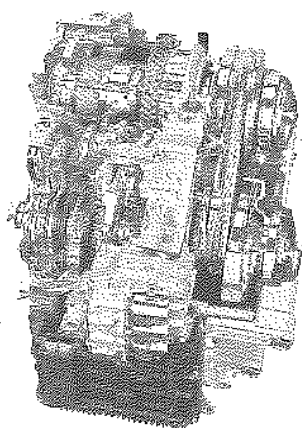
新型CVT生産開始

トヨタ北海道、月産2万台

【札幌】トヨタ自動車北海道(北海道苫小牧市、北條康夫社長、0144・57・2121)は、トヨタ自動車の新設計思想「TN GA」に対応した新型無段変速機(CVT)の生産を始めた。TN GA対応のCVTの生産はトヨタグループで初めて。米国などで生産する新型カローラハッチバック向けなどに出荷する。フル稼働時で月産2万台を計画する。

トヨタ自動車北海道は新型の「ダイレクト・シフト」CVTⅡ写真の生産開始にあたり、小型自動変速機(AT)のラインを閉鎖。新型CVT用のラインに置き換えた。CVT専用のラインは3本から4本になる。

新型CVTは現行より6%の燃費性能を向上。乗用車のCVTでは、世界で初めて発進用のギアを採用し、伝達効率を高めた。発進時はギア駆動となるため、力強い加速を実現する。ベルトとプーリー部も小型化し、変速速度を20%向上した。CVTはATと比べて、変速時のロスがな



く部品点数を少なくできるなどの利点がある。このため、世界的にATからCVTへの切り替えが進んでいる。トヨタ自動車北海道はこうした状況を踏まえ、ATからCVTに切り替え、CVTの生産を増やしている。